

学籍番号：8501109 南・西アジア課程トルコ語専攻 長岡 大輔

「20 世紀初頭のカフカスにおけるムスリム知識人の自己認識をめぐって
—アフメット・アガエフの『道標』紙初期の議論を中心に—」

目次

はじめに・・・3

第1章 研究史と問題の所在・・・4

第1節 研究史・・・4

第2節 アフメット・アガエフの回顧録について・・・11

第3節 問題設定・・・15

第4節 史料について・・・16

第2章 場とヒトとモノ：カフカス、アガエフ、『道標』・・・17

第1節 場の設定：20 世紀初頭カフカス・・・17

第1項 歴史的経緯とロシアによるカフカス統治・・・17

第2項 人口構成・・・19

第2節 アフメット・アガエフと『道標』・・・21

第1項 アフメット・アガエフの経歴・・・21

第2項 ギャンジャの演壇と『生活』との決別・・・23

第3項 『道標』の創刊と成長・・・25

第3章 「ムスリム」に対置されるもの：アルメニア人・・・27

第1節 「アルメニア人とムスリムの事件」・・・27

第2節 「アルメニア人」への賞賛と批判・・・28

第3節 賞賛と批判の間：ムスリムとアルメニア人の差・・・31

第4章 「ムスリム」に並置されるもの：millet,qavim・・・34

第1節 ムスリム宗務局をめぐって・・・34

第2節 ムスリムと教育・・・37

第3節 『道標』の財政難と民族的熱情・・・37

第4節 「ムスリム」と「アゼルバイジャン」・・・37

第5節 ギャンジャ義援委員会の設立とカフカス旅行・・・37

終章 『道標』とアガエフの「変容」を考えるために・・・37

参考・参考文献一覧・・・37

資料・・・37